

天童四中だより2025

To the NextStage

～四中前進！「学び」で一人一人のNextStageへ～

4月号

4月17日発行



四中春爛漫！

106名の新入生諸君！ようこそ四中へ！

校長式辞より

「『学び』とは知ること、そして感じること」

校長 石山 重典

校長先生から皆さんに天童四中に入学することのはなむけに話をしたいと思います。これから始まる3年間という短い中学校生活を存分に楽しむための心得と考えてもらってよいと思います。それは「**学び**」の話です。

この花の名前を何というか知っていますか。「ガーベラ」といいます。花には、花言葉というのがありますが、この「ガーベラ」の花言葉は何か知っている人はいますか。白いガーベラには「希望、期待」、赤は「挑戦、限りなき挑戦」、ピンクは「思いやり、愛情」、黄色は「やさしさ、究極の愛」、オレンジは「冒険心、探究心」。そして、この**10本のガーベラの花束には「前進」という意味があるのだそうです。**

もし、この花の名前を知っていて、香りも知っていて、さらに花言葉も知っていれば、この花を見かけたら、そのことが思い浮かぶことになります。今までは、なんとも思わなかった花が、自分の中に入ってきます。その花の見方が自分の中でかわることになります。**これが「学び」**だと思います。

同じようなことを、もう一つ話します。四中の今年2年生になる先輩たちの話です。昨年、1年生としてのまとめの時期である3学期に、「この1年を振り返って」という作文を書きました。どんなことを書いている人が多かったと思いますか。それを読むと、「四中の先輩のこと」「四中の先輩の姿」のことを書いている人が多かったのです。中学校生活の一年目、「先輩の姿」から学んだという人が多かったようなのです。

例えばこんな姿のことです。四中の伝統や誇りといえば、四中生は「あいさつ」を挙げると思います。その「あいさつ」に対する先輩の姿に学んだというのです。**当たり前のように自然に朝の挨拶をする姿**は、四中あいさつの誇りと、四中文化として伝え続けるという自覚、その姿に学んだというのです。

また、「**体育祭に本気で向かう先輩の姿**」に学んだといっています。競技や応援合戦で見た汗、声の出すぎでつぶれたかすれ声。そこでみせた悔し涙やうれし涙、最後に敵味方入り乱れ讃え合った感動の涙。その姿がかっこよくて、感動し、そんな四中生になりたいと感じたというのです。

そして、もう一つ。中学校では学級ごと合唱を練習し、披露し合う「合唱コンクール」という行事があります。その「合唱コンクール」での**緊張、気迫、思いが詰まった合唱をする先輩の姿**から学んだといっています。学校賞や最優秀賞を目指し作り上げたけど、本当に大切なものは「仲間との信頼や絆」であり、「さらなる次の自分との出会い」とした考え方から、そのハーモニーと四中生が目指すものを大切にしたい姿を私たちも伝えていきたいと思ったというのです。

今、例としてあげた、このような先輩方が見せる**本気の姿**に心を動かされたこと。小学校のとき見ていた先輩と違う姿がそこにあったこと。その姿に感動したことなど。**これが「学び」**だと思います。

まだまだ、「学び」というものは、いろんな形をしていると思いますが、私は、**これまで知らなかったことを知り、これまで思い込んでいたことが変わったり、見方が変わったりすることではないか**と思っています。そして、**これまでの自分そのままでよいと感じたり、自分を変えていこうと心に決めたり、そして、何より自分の生き方の進む方向を示してくれたり、人生を豊かにしてくれるものである**と考えています。

それが、**天童四中の目指す「学び」**だと私は思っています。

そして、この「**学び**」に大切なものは、「**行動**」であり、その「**行動**」を起こす心である「**勇気**」です。新入生のみなさん。君たちは、中学校という一段上へステージアップしました。見える景色が変わり「前進」するチャンスが目の前にやってきたところなのです。遠慮することなく「**勇気**」をもって、「**学び**」に向かってください。今年の四中はNextStageへの挑戦から、「**学び**」で四中は前進すると考えています。

四中前進！「学び」で一人一人のNextStageへ！です。

入学式
「新入生代表のこたば」より

入学式を迎えて

1年3組 榎 龍太郎

やわらかく暖かな春風とともに、たくさんの桜のつぼみは、まるで、私たちの入学を歓迎しているかのようです。本日、私たち新入生一同は、天童市立第四中学校の一員となる喜びと誇りを胸に、ここに入学いたしました。今までとは異なる新しい出会いに、期待と希望で胸がいっぱいです。

これから始まる中学校生活では、勉学に励み、部活動や学校行事にも積極的に取り組みます。仲間とともに切磋琢磨し、互いに支え合いながら成長していくことを誓います。たとえ困難に直面しても、自ら考え行動し、仲間と共に、最後まで諦めず乗り越えていきます。

また、先生方や保護者の皆様への感謝の気持ちを忘れず、日々の学びを大切にします。先輩方が築いてこられた伝統を受け継ぎ、より良い学校生活を築いていけるように努力します。さらに、私たちは笑顔で元氣よく挨拶を交わし、明るく温かい学校づくりにも努めます。

最後になりますが、校長先生、先生方、そして先輩方、温かいご指導よろしく願いいたします。私たち新入生は天童市立第四中学校の生徒としての誇りを持ち、実りある中学校生活を送っていきます。

始業式
「3年生代表のこたば」より

三年生の抱負

3年1組 齊藤野乃子

今日から、三年生・最高学年としての生活が始まりました。この春休みは新学期に向けて有意義な時間にできましたか。私は、三年生として、先輩として過ごしていくために、普段の学校生活では「**気づき・考え・実行する**」精神でこれまでよりさらに進化していきたいと思います。特に学校生活の中で次の三つのことを頑張りたいです。

一つ目は学習面です。受験生になることを自覚するとともに「**継続とレベルアップ**」を目標として勉強をします。自分が満足できるようになるまで続け、レベルの高い学力を身につけることを頑張りたいと思います。授業では、わからないところをそのままにせず仲間と情報共有し、その時間の中で理解できるようにしたいです。また、苦手な部分を良く復習し、今のうちに基礎を固めることを意識して取り組みます。

二つ目は部活動です。夏に行われるコンクールまでの期間を有意義に過ごしたいと考えます。去年先輩から教えてもらった部活動の楽しさや、託された思いを大切に、中学校生活の間でしか学べないことをしっかり学んでいきたいと思います。

三つ目は修学旅行です。集団生活の中で、仲間と協力して1つのことを成し遂げ、社会のルールや協調性を養うことを目標にしたいと思います。また班長としての責任をまっとうできるようにしていきます。

義務教育最後の一年を過ごしていく中で、後輩に思いを引き継ぎ、仲間を大切に、たくさんのことを言葉や態度で示せるようにしていきます。

生徒会入会式
「新入生代表のこたば」より

生徒会入会式代表あいさつ

1年2組 後藤 厚希

2年生、3年生の先輩方、本日は生徒会入会式を開いていただきありがとうございます。また、先生方や先輩方の準備のおかげで、僕たちの入学式を無事に終えることができました。本当にありがとうございます。

中学校に入学する前から、僕は期待や楽しみな気持ちをたくさん持っていました。それは、オリエンテーションの時に、先生方から中学校生活について教えていただいたり、生徒会の先輩方がユニークな劇で僕たちの緊張をほぐしてくれたからです。今、入学式や生徒会入会式を経て、いよいよ始まるという気持ちが高まってきました。

学校の昇降口に、「**新世紀の開拓者**」という大きな目標があるのを見つけました。小学校での成功や失敗体験を生かし、自分たちで必要なことを考えて行動することを意識して、勉強や部活動に取り組んでいきます。そして、先輩方と一緒に、中学校生活を楽しく、よりよいものにしていきたいです。

2年生、3年生の先輩方、そして先生方、3年間、僕たちをよろしくお願いします。

始業式
「2年生代表のこたば」より

二年生の目標

2年2組 山口 颯真

僕が二年生になって頑張りたいことは三つあります。

一つ目は、サッカーです。僕は、3月22日と23日に宮城県で行われた、東北選抜の練習会に参加しました。東北選抜に選ばれることは目標の一つであったので、選ばれたときはすごく嬉しく、気合いが入っていました。しかし、練習が始まると、周りの選手は一つ一つのプレーの質がとても高く、僕は周りの選手についていけませんでした。東北トップレベルの選手との差を思い知らされ、このままではいけないと感じました。だから、今年はトップレベルの選手に追いつけるように練習を頑張っていきたいです。

二つ目は、駅伝です。4月12日に東村山地区駅伝大会があります。僕は、駅伝練習が始まった時から、県大会に出場したいという思いがありました。しかし、サッカーとは違った難しさを感じることが多く、特に1キロごとに一定のペースで走らなければならなかったり、終盤の疲れている中での順位争いなど、強いメンタルが必要となり、本当に苦しいです。それでも、今までやってきた練習と、つらい練習を共に乗り越えてきた仲間を信じれば、県大会出場を達成できると思います。決して簡単な目標ではないですが、駅伝チームのみなさん、一緒に頑張りたいです。

三つ目は、委員会活動です。僕は一年生の後期に初めて学級委員を務めました。初めは、緊張や恥ずかしさを感じ、自ら発言することができませんでしたが、次第に先輩方の堂々と発言する姿に憧れるようになりました。そして、まだ恥ずかしさはありますが、手を挙げて意見を発表することができるようになりました。学級委員を務めたことで、リーダーとしての自覚と責任を持った行動ができるようになり、大きく成長できたと感じています。これからもリーダーとしての経験を積み、学級や学年を引っ張る存在になりたいです。

また、二年生になると、学習内容も難しくなると思います。今挙げた三つに加えて、毎日の授業や家庭学習を大切にして、学力アップも目指します。二年生のみなさん、四中の中堅学年として三年生の先輩方を支え、カッコいい先輩として一年生をリードできるように、一丸となって頑張りたいです。